

★★放課後等デイサービス評価表 対前年度比較★★

じどうデイサービスフィール

31年度	30年度
回収率	回収率
60%	58%

		31年度		30年度	
設 問		回答	割合	回答	割合
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい	70%	はい	74%
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	はい	58%	はい	53%
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	82%	はい	71%
	項目別評価	はい	70%	はい	66%
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	はい	82%	はい	79%
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	はい	64%	はい	68%
	6 戸外活動などを通じ、社会との交流やルールを守る活動はされているか	はい	73%	はい	71%
	項目別評価	はい	73%	はい	73%
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい	85%	はい	76%
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	はい	70%	はい	82%
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい	52%	はい	53%
	10 事業所での父母の会や保護者会は必要と感じていますか	どちらとも いえない	55%	どちらとも いえない	65%
	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			どちらとも いえない	59%
	12 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	どちらとも いえない	52%	はい	68%
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい	70%	はい	62%
	14 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	64%	どちらとも いえない	50%
	15 個人情報に十分注意しているか	はい	85%	はい	71%
項目別評価	はい	61%	はい	54%	
非常時等の対応	16 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい	52%	はい	50%
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	どちらとも いえない	64%	どちらとも いえない	59%
	項目別評価	どちらとも いえない	55%	どちらとも いえない	51%
満足度	18 子どもは通所を楽しみにしているか	はい	85%	はい	94%
	19 事業所の支援に満足しているか	はい	76%	はい	82%
	項目別評価	はい	80%	はい	88%

【傾向】

- 全体的に前年度と比較すると概ね横ばい傾向ですが、その中で【満足度】の項目の数字がともに低下傾向になっています。
- 前年より上昇しているのは
 - 【設問3】事業所の設備のバリアフリー化活動プログラムの固定化しない工夫
 - 【設問4】ニーズにあった放課後等デイサービス計画書の作成
 - 【設問7】支援の内容や利用者負担等についての丁寧な説明 となっています。
 サービス計画書作成の面では、今期の職員全員での意識の向上が数字に表れています。
- 前年より下降している項目は
 - 【設問9】保護者との意思の疎通や保護者との面談や育児の助言が出来ているかは前年同様、低い数字となっています。
 - 【設問12】苦情があるときの体制の整備と保護者への説明、迅速かつ適切な対応が出来ているかが、大変厳しい数字となっています。
 →保護者との関係性の面での数字は概ね良いので、苦情などの迅速な対応の必要性がある時に一段と努力が必要と感じます。
- 非常時の対応については、法人全体でのより工夫が必要で、かつ保護者への周知徹底も必要かと思われます